

## 財政収支(2018年1-8月)

(1)2018年1-8月における歳入は前年同期比18.9%増、税収は同19.4%増。

(2)歳出は前年同期比23.7%増。

(3)財政収支は508億リラの赤字(前年同期比101.6%増)。プライマリーバランスは6億リラの赤字(前年同期は130億リラの黒字)。

データ:財務省 単位:百万リラ

歳入・歳出内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	408,652	485,736	18.9%
税収	343,511	410,115	19.4%
所得税	70,738	88,301	24.8%
法人税	39,255	51,128	30.2%
付加価値税(国内及び輸入)	95,462	117,261	22.8%
特別消費税	85,964	91,982	7.0%
その他税収	52,092	61,443	18.0%
税外収入等	65,141	75,621	16.1%
歳出(b)	433,836	536,498	23.7%
人件費	108,750	132,825	22.1%
物品及びサービスの購入	36,489	41,357	13.3%
経常移転	183,863	218,520	18.8%
資本支出	33,337	47,521	42.5%
支払利子(c)	38,179	50,203	31.5%
その他歳出	33,218	46,072	38.7%
財政収支(a-b)	▲ 25,184	▲ 50,763	▲ 101.6%
基礎的財政収支(a-(b-c))	12,994	▲ 559	▲ 104.3%

## 経常収支(2018年1-7月)

(1)2018年1-7月の経常収支は、前年同期比27.4%減少し、331億ドルの赤字。

(2)貿易収支は前年同期比28.5%減少、旅行収支は同30.9%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

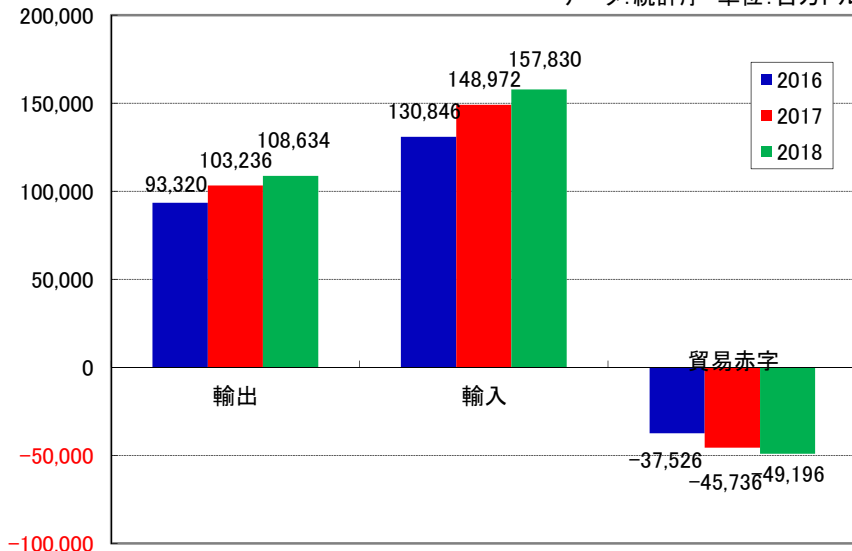
内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 26,009	▲ 33,133	▲ 27.4%
貿易収支(物品)	▲ 29,914	▲ 38,433	▲ 28.5%
サービス収支	8,565	11,732	37.0%
旅行収支	7,792	10,197	30.9%
その他サービス収支	773	1,535	98.6%
第1次所得収支	▲ 6,120	▲ 6,662	▲ 8.9%
第2次所得収支	1,460	230	▲ 84.2%
労働者送金	268	192	▲ 28.4%
その他第2次所得収支	1,192	38	▲ 96.8%
資本移転等収支	12	31	158.3%
金融収支	▲ 31,533	▲ 21,489	31.9%
直接投資	▲ 4,502	▲ 3,548	21.2%
証券投資	▲ 17,999	426	102.4%
その他投資	▲ 4,233	▲ 13,032	▲ 207.9%
外貨準備	▲ 4,799	▲ 5,335	▲ 11.2%
誤差脱漏	▲ 5,536	11,613	309.8%

## 貿易収支(2018年1-8月)

(1)2018年1-8月の輸出額は1,086億ドル(前年同期比5.2%増)、輸入額は1,578億ドル(同5.9%増)となり、この結果、貿易収支は492億ドルの赤字(同7.6%赤字拡大)となった。

(2)2018年1-8月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は50.3%(前年同期は46.2%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は36.8%(同35.6%)となっている。

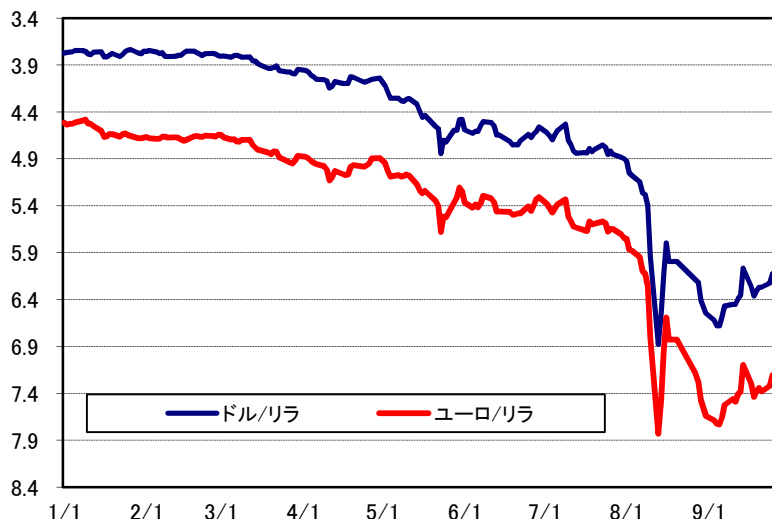
データ:統計庁 単位:百万ドル



## 為替(9月)

①9月13日の中銀の政策金利引上げ(6.25%), ②9月20日に公表された新経済計画(中期経済計画から改称), ③エルドアン大統領の「金利の引上げは、トルコ中銀の独立性の象徴」といった発言, を市場は好感し, 9月28日時点で1ドル=5.99リラ, 1ユーロ=6.95リラとそれぞれおよそ1ヶ月ぶりに1ドル=6リラ, 1ユーロ=7リラを突破した。

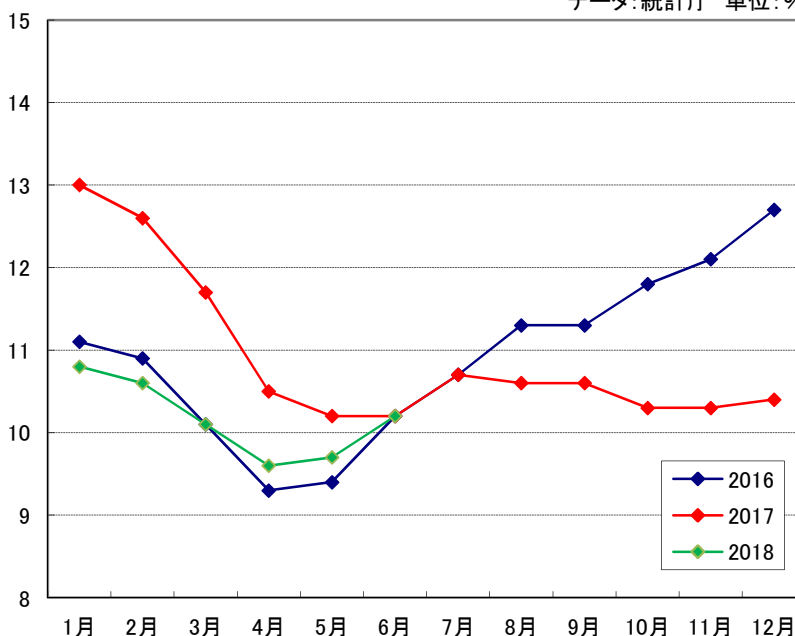
データ: 中央銀行 単位: 1ドル=リラ, 1ユーロ=リラ



## 失業率(6月)

(1)2018年6月の失業率は、10.2%。前年同月と同じ値で、前月から0.5ポイントの上昇。  
 (2)労働力人口は3,263万人、就労者数は2,931万人、失業者数は332万人。  
 (3)男性の失業率は8.7%、女性は13.2%。若年層(15-24歳)の失業率は19.4%となっている。

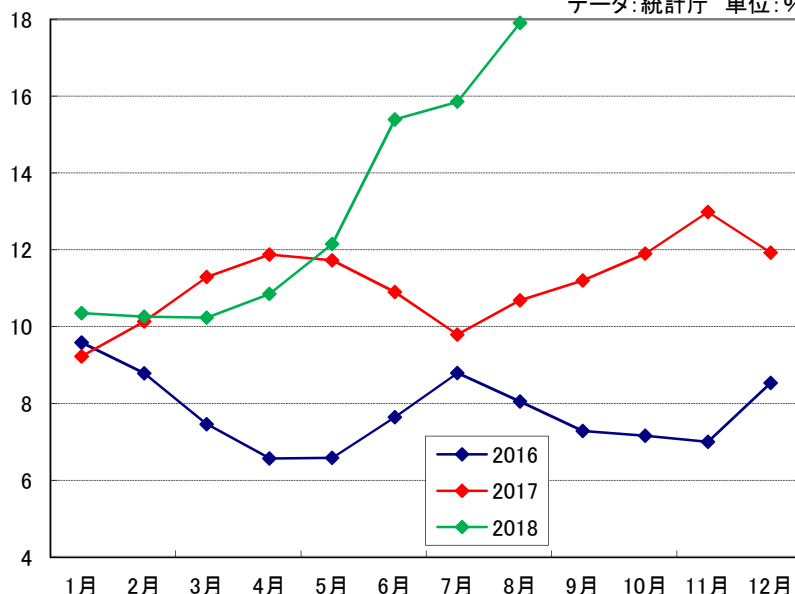
データ: 統計庁 単位: %



## 物価上昇率(8月)

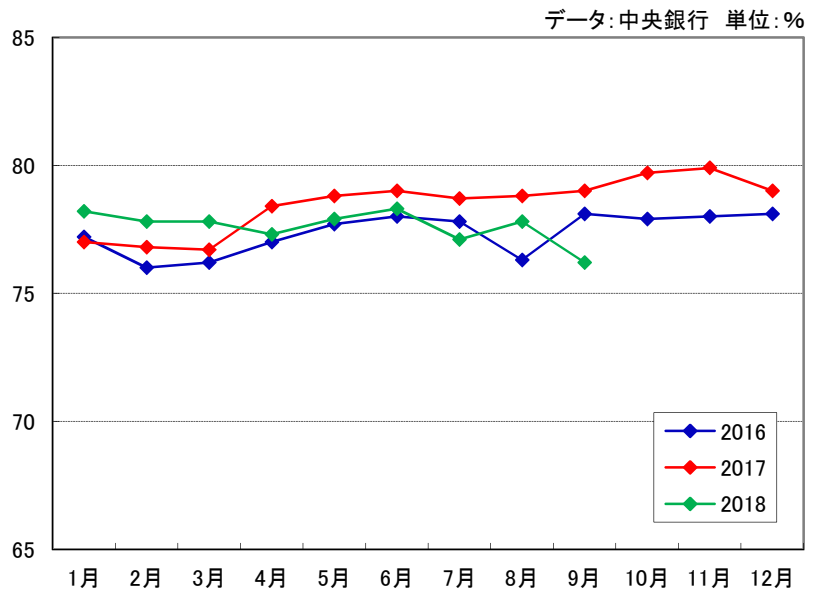
(1)2018年8月の消費者物価は前月比2.30%増、前年同月比17.90%増。  
 (2)分野別に見ると、前月比では雑貨・サービスが5.85%増で最も上昇。前年同月比では運輸が27.13%増で最も上昇。  
 (3)本年末の中銀見通しは13.4%(7月のインフレレポート)。  
 (4)国内生産者物価指数は前月比6.60%増、前年同月比32.13%増となった。

データ: 統計庁 単位: %



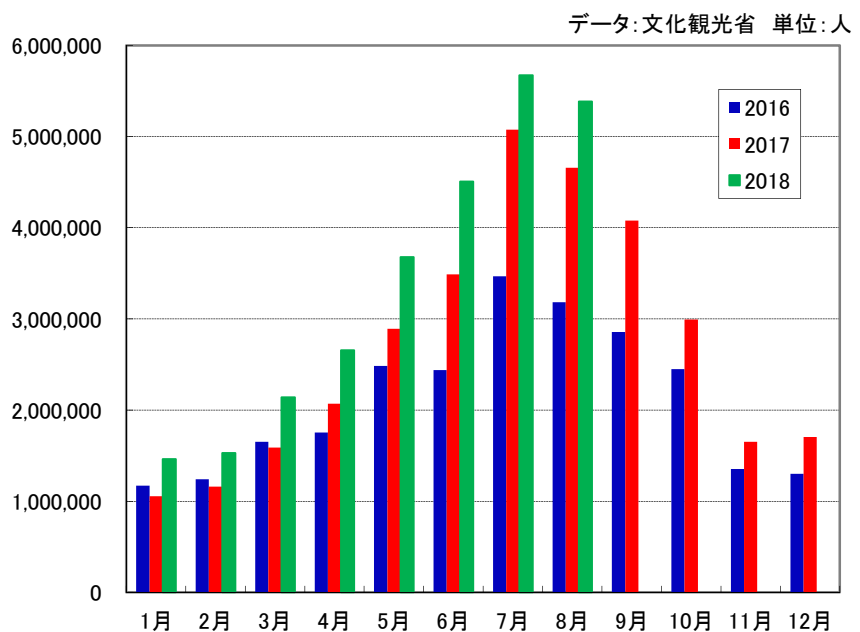
## 設備稼働率(9月)

(1)2018年9月の設備稼働率は76.2%となり、前月から1.6ポイント減少。前年同月からは2.8ポイント減少となった。  
 (2)製造業の分野別では、石炭・石油精製品(87.9%)が最も稼働率が高く、革及び革関連製品(57.6%)が最も低い稼働率であった。



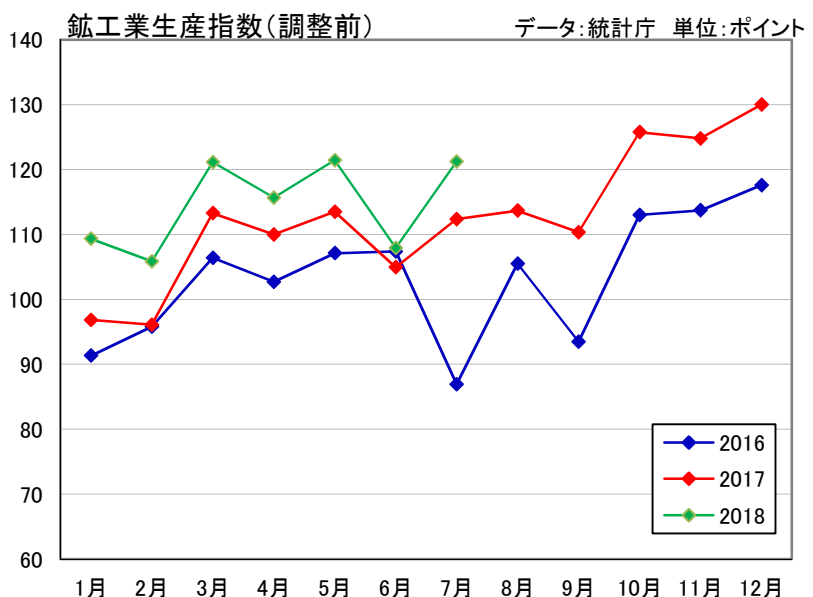
## 外国人訪問者数(8月)

(1)2018年8月にトルコを訪れた外国人訪問者は538万人で、前年同月比15.6%増。  
 (2)訪問者数を国別に見るとロシアからが最も多く91万人で全体の16.9%を占める。以下、ドイツ(65.5万人)、英国(36.3万人)となっている。  
 (3)なお、日本からの訪問者は8,217人(前年同月比73.3%増)となった。



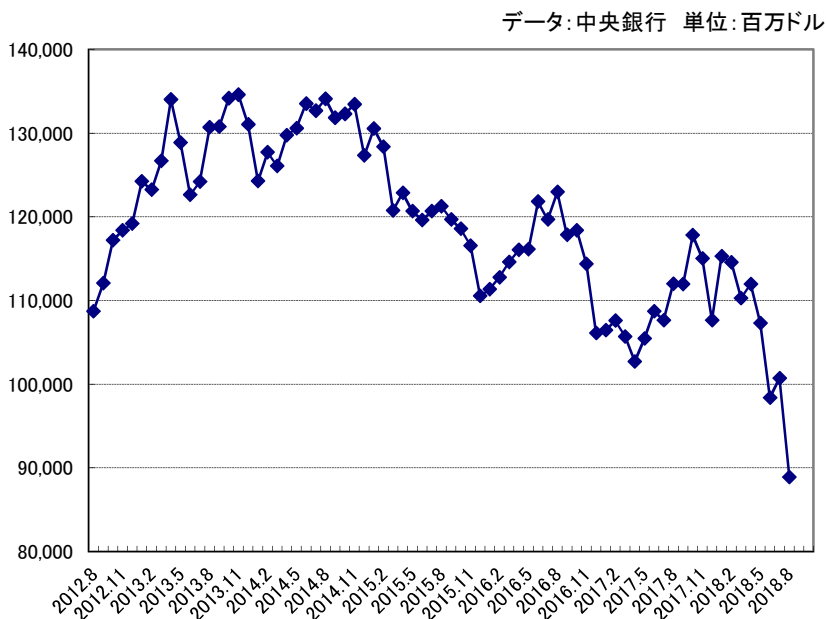
## 鉱工業生産指数(7月)

(1)2018年6月期の鉱工業生産指数(調整前)は121.2ポイント(2015年=100)となり、前年同月比(日数調整後)は5.6%増、前月比(季節及び日数調整後)は3.5%増。  
 (2)分野別では、耐久消費財が前月比5.8%増、非耐久消費財が同5.0%増。



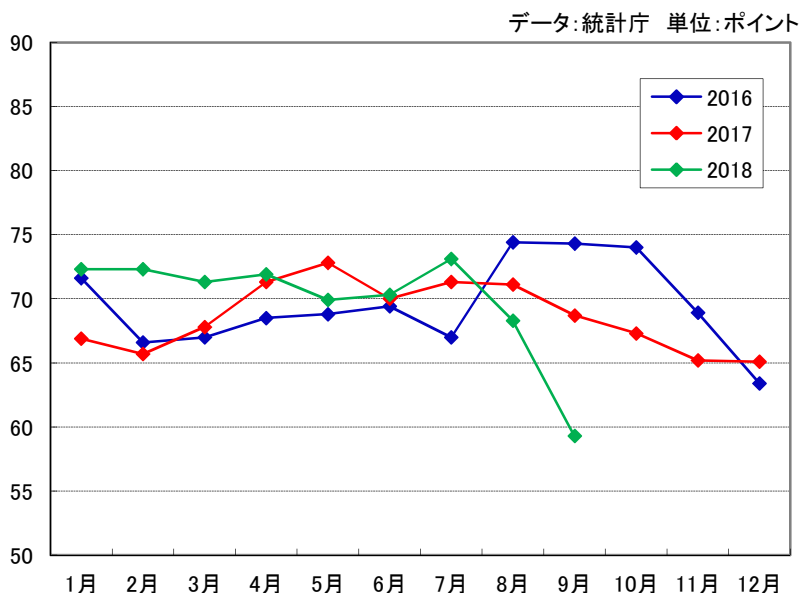
## 外貨準備高(8月)

(1)2018年8月時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は889億ドルとなった。  
 (2)900億ドルを下回るのは、2012年2月以来。



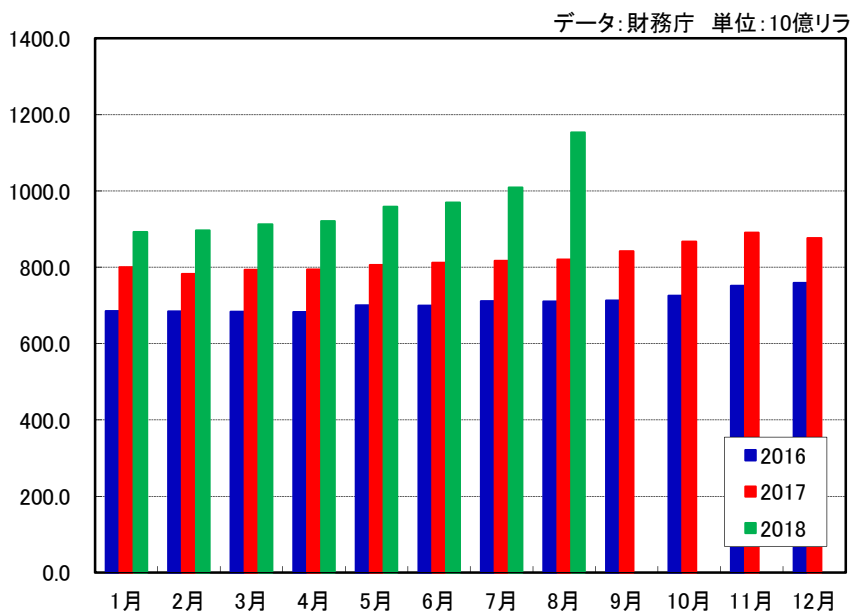
## 消費者信頼感指数(9月)

(1)2018年9月の消費者信頼感指数は前月から9.0ポイント低下し59.3ポイントとなった。  
 (2)内訳では、一般経済見通しが13.7ポイント低下の74.6ポイント、家計における財政状況見通しが8.8ポイント低下の76.7ポイントとなった。



## 中央政府債務残高(8月)

(1)2018年8月時点での中央政府債務残高は1兆1,535億リラとなり、前年同期比40.6%増加した。なお、前月比では14.3%の増加となった。  
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に50.2%となっている(2017年末61.1%)。  
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は3.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。